



さらき

きらきら 伸びゆく 更木っ子



社会を明るくする運動北上集会 ～小学生の体験発表～

7月5日(日)に、標記集会が詩歌文学館で開催されました。当日は、北上市内の全小学校から代表児童が集まって自分の体験から学んだこと、考えたことを発表しました。本校からは6年福盛田 滯さんが参加しました。会場には八重樫 浩文 北上市長や船田 浩 北上市教育委員会教育長など、多くの方々が見守る中、緊張しながらもはっきりした声で堂々と発表しました。大変立派な発表でした。

地域を大切に

北上市立更木小学校 六年 福盛田 滯

先月、私たちは仙台へ修学旅行に行ってきました。修学旅行の目的の中には、「地域を見直す」こともありました。私たちは、総合的な学習の時間に、更木地区について学習を進めています。私は、自然豊かな更木が大好きです。

仙台駅から見学場所へ移動するとき、交通量の多さに驚きました。また、商業施設も多く、更木地区との違いを実感しました。しかし、その違いは更木地区のよさを実感することにもつながりました。更木地区のよさは、自然が豊かなことです。様々な生き物が共存でき、ホタルを観察することもできます。私は、地域の人たちがゆったり暮らせる今の自然を守り続けたいと思いました。

修学旅行の二日間で、楽しい思い出がたくさんできました。しかし、地域について深く考えさせられる場所もありました。

それは、震災遺構仙台市立荒浜小学校です。市街地の東、海のある地域にあった小学校です。荒浜小学校は東日本大震災の津波被害の様子をそのまま残してありました。海から七百メートルほど離れていたのに、津波は小学校に到達したときには、四・七メートルもあったそうです。二階までしん水した跡や、鉄の手すりが曲がった二階のベランダ、はがれ落ちた天井を見ることができました。ほかにも、震災翌日に撮られた写真の展示もありました。また、その時学校にいた先生や児童のインタビュー映像も見ました。

私は東日本大震災での津波のこわさを知りました。それと同時に、更木地区の自然災害について考えました。更木地区は、これまでに洪水で何度かしん水被害にあっています。毎年防災について学習してきましたが、洪水が起こるかもしれないことについてはあまり実感できていませんでした。今回の荒浜小学校に行って話を聞き、「洪水が起こるかもしれない」と日頃から考えることは、とても大切なことだと思いました。荒浜地区の人たちは、寒い中、真っ暗な屋上で救助を待ち、最後の人が救助されるまでに十一時間もかかったそうです。救助後も、避難所で長い間過ごし、不安でいっぱいだったと思います。また、防災について家族で話題にすることも大事だと学びました。災害が起きたら、自分の命を守ることが一番大事です。「家族も自分の命を守るために行動しているはずだ」と、お互いに信じ合えるようにしておきたいです。

今回の修学旅行では、地域のよさを見直すことができました。に加えて、「防災に備えることの大切さ」を学びました。「もし洪水が起こったらどうするか」「被害を大きくしないために何ができるか」を、地域の一員として考え、自然豊かな更木地区をこれからも大切にしていきたいです。



社会を明るくする運動北上集会



千田 和子さん、平野 百合恵さん、藤本 智子さん、藤本 愛華さん
藤本 甚市さん、小田島 恭治さん 大変ありがとうございました

月	火	水	木	金	土	日
17	18	19	20	21	22	23
			始業式 給食なし	午前授業 給食あり		
			全校12:10	全校12:50		
24	25	26	27	28	29	30
図書貸し出し 委員会	陸上練習開始 み～んな健康 週間(～31日) 夏休み作品展 (～28日)	児童朝会		夏休み作品・ 研究発表会 (9:30～) 資源回収		
②③14:50 ⑤⑥15:35	②③14:45 ⑤⑥16:05	②14:50 ③15:35 ⑤⑥16:45	②14:00 ③-⑥14:45	②③14:50 ⑤⑥16:45		
31	  					
クラブ						
②③14:50 ⑤⑥16:45						